

平成二十年度も残すところあと少しとなりました。昨年は選挙色となりその中でもとりわけ国政選挙は半世紀で初めての政権交代で、世の中が騒然としました。

先行きの不安と期待の思いで年を越しましたが、安心・安全であわせを感じる社会はまず福祉の充実ではないかと思つています。

昨年度まで社会福祉協議会稲羽西支郎にかかわりのなかつた私はこの役を戴いて約年、同じ支部役員の皆様方



稲羽西支部 副支部長
奥村 勝一

からいろいろご指導やご協力をいただき、多様な社会福祉活動を知ることができました。

社会福祉協議会は、民間団体です。から自治会の皆様方の絶大なご協力により会員募集を行つて、財源面から支援する役割を担っています。この財源を基に地域の特性に合った独自の支部活動を展開することか、社会福祉の「コミュニティづくり」を実現する重要な使命と考えます。

福祉の関口は広く高齢者から幼児まで安心して暮らしていくためには、何らかの援助を必要としている人が多く直接的及び間接的に手助けをする必要があり、それには様々な助け合いの仕組みを整えたり、活動方法を新たに創出して各組織が強力をバックアップする熱意がいろいろあります。

「新しい支え合い」を考える

社 協 稲西だより

第 10 号 発行
編集 各務原市 社会福祉協議会 稲羽西支部

これからは、お互いの個性やライフパターを尊重しながら自然に触れ合い助け合うことができる「新しい支え合い」の在り方が求められています。

その地域での生活ニーズにあつたサポートの仕組みがあれば、子育て、健康づくり、介護予防の自立支援にもなると思えます。

支当部では、福祉の現状と活動状況等の情報を年一回の稲西だよりに載せ、より良様に提供できるように、努力をしたいと思いますので、今後とも未永く愛読くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

平成21年度 稲西支部活動報告

月日	活 動 内 容
3月 31日	役員選出打合せ(自治会長)
4月 8日	役員選出打合せ(民生児童委員)
4月 21日	支部三役会(前期スケジュール確認)
4月 23日	支部三役会(前期スケジュール確認)
4月 29日	支部三役会(前期スケジュール確認)
5月 21日	理事会
5月 29日	定期支部総会
6月 4日	支部三役会(稲西だより⑨編集会議)
6月 7日	稲羽西校区クラブゴルフ大会
7月 17日	市自治会連合会長・社協支部長合同会議
7月 24日	支部三役会(稲西だより⑩最終編集会議)
8月 1日	社会福祉協議会会員募集
8月 7日	親子ふれあい映画会を開催
8月 11日	稲西だより⑩号発行
8月 14日	近隣PTA活動に助成金配布
8月 19日	支部三役会(後期スケジュール確認)
9月 4日	各務原市社会福祉フェスティバル(市民会館周辺)
9月 13日	赤い羽根共同募金運動
9月 14日	稲羽西校区市民大会(協賛)
9月 19日	健康講習会(転ばない体づくり)
9月 20日	岐阜県社会福祉大会(長良川国際会議場)
9月 24日	福祉勉強会
9月 29日	友愛訪問
10月 1日	支部三役会(稲西だより⑩編集会議)
10月 12日	各務原市社会福祉大会(市民会館)
10月 22日	支部三役会(稲西だより⑩最終編集会議)
10月 19日	市社協支部長・福祉推進員会議
10月 31日	稲西だより⑩号発行
11月 6日	理事会
11月 20日	定期支部総会

初期消火訓練・心肺蘇生訓練を実施

大佐野町自治会

昨年の十月二十九日(日)に大佐野町公民館と隣接する神明社境内に於いて西消防署の講師4名により次のような訓練を実施しました。

- 消火器を使った初期消火訓練
- 心肺蘇生法訓練
- AEDの使用訓練
- 毛布を使った応急担架の作成訓練等です。



これは八月二十三日に市の総合防災訓練に先立ち、大佐野町住民を対象に市指導で水消火器を使った初期消火訓練、消火栓を使った初期消火訓練を実施したが、直接扱うことができたのは少数だったため、できるだけ多くの人が体験できるように計画したものであり、当日は女性消防クラブ員を主体に約七十名が参加して知識、技能の習得をしました。



クリスマス会の開催

小佐野町子ども会

インフルエンザによる学級閉鎖のため、直前まで開催が危ぶまれていたが学級閉鎖が解除されたため実施することができました。当日は寒い日であったが、晴天だったため、役員と子どもたちが、楽しく関わりながらウオーキングやツリー作りに参加できました。

楽しい雰囲気の中でミニクイズがとれて充実した日になり、よかったです。

昨年の十二月二十日(日)小佐野町子ども会は稲羽西福祉センターに於いて小学生54名の参加を得てクリスマス会を開催しました。

主な企画は

- ①ウオーキング
- ②クリスマスツリーづくり
- ③牛乳パックと紙皿の台に松ぼっくりを4つ重ねて乗せクリスマスツリーにする。

りに探し歩き確認する。



家族介護教室開催について

各務原市地域包括支援センターつじ苑では、稲羽地区にお住まいで、在宅で介護をされている方などを対象に、『家族介護教室』を開催しています。今年度に行った内容を紹介させていただきますと思います。

①福祉用具専門相談員の方々を講師に、電動ベッドやマットレス、ベッド周りのグッズ、移乗用の電動リフトなど、いろいろな福祉用具の効果的な使い方をお話していただきました。以前実施した介護者さんへのアンケートでも、腰痛はほぼ全員が“ある”と回答されていました。ほんのちよとの工夫次第で、ご利用者本人の生活に対しても大きく効果が変わりますし、介護もラクになります。普段は介護をしておられる方も、ご自身が横になつて動くベッドを体験しました。「自分が寝てみると、思つたのと違ふもんやねー」とのお声も。また、移乗用の電動リフトを、介助する側・介助される側の両方から実際に体験しながら学びました。その他の役に立つグッズとしては、ベッドの上での移動介助を行いやすくするスライドシ

フトを体験しました。その性能には一回驚きました。講師の先生方は、とにかく話しやすい雰囲気でした。介護者さん同士のお話もはずみ、和やかでアットホームな会となりました。

②現役ケアマネジャーでもあり、接骨院の柔道整復師でもある方を講師に、身体を痛めない介護方法や、日頃から痛めない身体をつくる方法、そして、もし痛めてしまったらどのように対処したらよいか、などをお話していただきました。参加者の皆さんに実際にいろんな体験をしていただきました。いろんな質問があり、お互いの体験談にうなずき、時には大笑いもあり、本当に楽しい時間でした。介護者の方から「先生の笑顔からチカラをいただきました！」とお声もありました。

③製薬会社の方々を講師に、認知症の症状や接し方について、分かりやすく丁寧にお話をしていただきました。製薬会社ならではの視点でのお話もあり、介護者の皆さんが身を乗り出

すようにして耳を傾けておられたのが印象的でした。

これからも、少しでも介護をしておられる皆さまのお役に立てるように、いろいろなテーマで開催したいと思います。参加してみたいと思われる方は各務原市地域包括支援センターつじ苑までご連絡ください。

文責 長谷川(社会福祉士)

〒504-0931 各務原市大佐野町2丁目58番地
電話 058-371-2226 FAX 058-371-8431



クリスマス会の開催

上戸町子ども会 奥村 周子



昨年の十二月十九日(土)に上戸町子ども会は春日会館でクリスマス会を開催いたしました

当初は映画会の開催を予定していましたが降雪の為に、映画をキャンセルしましたので予定変更となり準備にバタバタしましたが、クリスマスにちなんで子ども達にペットボトルツリー作りに挑戦してもらいました。細かいところ等は役員の方々に手伝って頂きましたが男の子も女の子も自分だけのオリジナルツリーが出来て大変うれしそうでした。

参加者数 59名内小学生50名